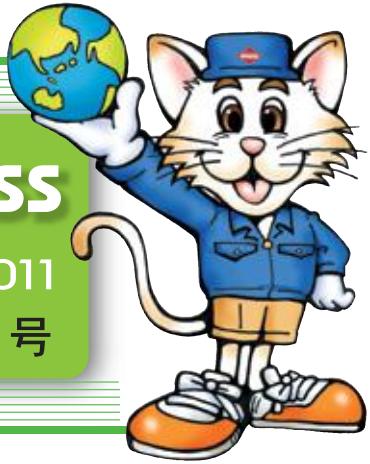


**SANPO SEIKI**

# n·eco

がんばろう!! 日本

Press  
9 2011  
月号



電力不足に備えつつ、生産力を維持して積極的な営業を継続するために、三宝精機工業は今年度はじめから様々な試みをしています。まず工場内壁面を白く塗り替え、反射光を利用して照明効果をあげました。照明の電源も個別化し、使用する場所だけ点灯するように徹底。事務所棟廊下はLED照明に交換しました。節約バッジ、ポスターで社員にエコ活動を呼びかけた結果、機械清掃用のウェスは各自不要な衣類等を持参するようになるなどの協力も得られ、着々と成果を挙げています。

壁を白く塗り替えた本社工場

# 節約



蛍光灯をはずし、LED照明に変えた事務所棟



節約キャラクターの入った新ユニフォーム



三宝精機工業株式会社

[www.sanpo-seiki.com](http://www.sanpo-seiki.com)

# Column

気になる  
言葉から

## 『目処(めど)』

なかなか「目処」が立たない震災後の復興、電力事情、日本経済の行方…。「目処」の語源は植物の「メドハギ」からといわれています。メドハギは秋の花として知られる「萩」の仲間。細い茎がまっすぐにたくさん伸びるマメ科の植物です。北海道から沖縄まで、日本全国で見られます。易者が占いに使う細い棒「筮竹」は現代では竹で作られていますが、もともとはこのメドハギでした。「目処萩」「筮萩」という字を当てることもあります、「目処」には「占い」という意味があります。占いは将来の見通しを求めるものということから「目処」が「目標」「目あて」という意味になっていったと考えられます。

大昔には占いで政治が決まった時代もあったようですが、現代の「目処」にはもっとちゃんとした根拠が必要です。最近は「一定の目処が立つたら…」というあいまいで便利な表現として乱用されている傾向がありますね。

小学生にお母さんが「宿題はいつやるの!?」と詰問したら「一定のメドが立つたらね~」と返事が返ってきたとか…  
大人の責任は重大です。



メドハギ

## WHAT'S NEW

話題の 新商品

## 『電池 NOPOPO』

付属のスポットを使って、本体の穴に水を入れるだけで発電する単三型電池です。未開封状態で約20年の長期保存が可能で、重量も通常の電池の約65%程度と軽いため、災害への備え・非常用としておすすめ。ジュース、お茶などでも発電でき、小型ラジオ、LED懐中電灯などの消費電力の少ない機器に向いています。変換アダプタを使用すれば、単一など他のサイズの電池としても使用可能です。水銀などの有害物質を含まないため、一般不燃物として廃棄できます。



水電池NOPOPO交換用3本セット NWP-3-D  
本体サイズ:φ14.3×H50.3mm 本体重量:16.5g  
セット内容:水電池NOPOPO(単三形・3本)、

スポット(1個) 630円(税込)

販売元 ナカバヤシ株式会社 (NAKABAYASHI CO.,LTD.)

東京本社:〒174-8602 東京都板橋区東坂下2-5-1

問い合わせ 0120-166-779

製造元:日本協能電子(東京都港区)

# Case Study

## 25年働いた円筒研削盤がオーバーホールで新品同様に STUDER社 RHU-400

### お客様の課題

名機といわれるスイス、STUDER社製の円筒研削盤RHU-400を25年以上使用してきたお客様から「精度が低下したがどうにかならないか」というご相談を受け、費用対効果を考えてオーバーホール実施をご提案しました。

### 解体中のRHU-400



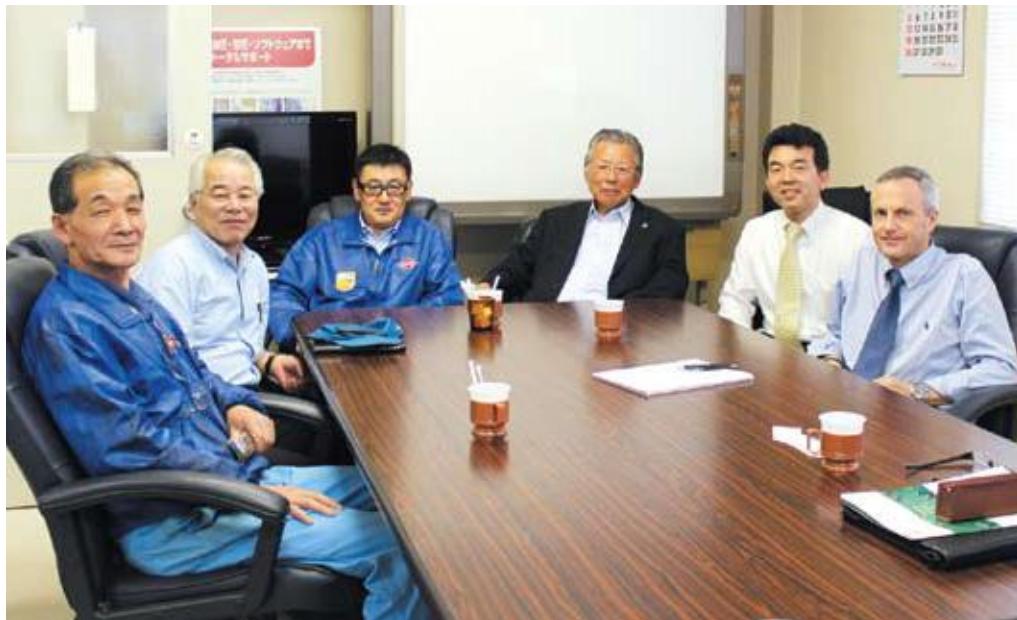
### オーバーホール後の製品



国産品よりもかなり高価ですが、世界的に評価の高い研削盤です。25年の使用を経てさすがに加工精度が低下していましたが、STUDER社は古い機械の部品も完璧に揃えており、最短3日で部品が届くなど対応も早いため、オーバーホール、部品交換によって迅速で効果的なメンテナンスが可能です。この場合の交換部品は95%メーカー(スイス)から取り寄せ、精度、外見共に新品同様にオーバーホールできました。費用は新規購入の約半分程度です。担当部署の上司の方が、戻ってきたRHU-400を見て新品と勘違いされ、「新しい機械を買つていいとはいってないぞ!」と言われたそうです。

今回は実施しませんでしたが、このRHU-400はMOVOMATIC社製の超精密自動定寸装置を付けることにより、正確に規定のサイズまで自動研削が可能です。作業の大幅な効率化を希望される場合に大変効果的です。

## 世界No.1研削盤メーカー STUDER社より視察団訪問



三宝精機工業が取り扱う輸入工作機械の中でも、世界No.1研削盤メーカーとして知られるスイス・Fritz STUDER社から6月14日、視察団の訪問を受けました。来年創業100周年を迎える同社は、特に研削の分野で長年にわたりシェア、技術共に業界をリードするトップメーカーです。

(一番右) Mr.Adrian Stalder  
Geschäftsführer  
Managing Director

(右から2番目) Mr.Hajime Hirayama  
Service Manager



Fritz Studer社は1912年に創立され、小型から中型のワークピース用内面・外面円筒研削盤製造で業界をリード。個別品、小規模から中規模の作業ロットで、主に機械工具、電気・電子機器、工具の製造を主要な業務とし、燃料噴射や油圧産業分野における精密小型部品製造用の装置も手掛けます。内面および外面円筒研削用として、最高レベルの研削システムを提供しています。

【Fritz Studer社】Phone: +41-33-439-1111 Fax: +41-33-439-1112 E-Mail: info@studer.com URL: http://www.studer.com

電力不足、東日本大震災による部品調達の遅れなど、経済へのマイナス要素が多く指摘されていますが、それらを言い訳にしない積極的な営業こそが日本経済のボトムアップにつながると考えています。

暑い夏になりそうですが、節約にも営業にも、攻めの姿勢で取り組みたいと思います。

代表取締役社長 金子 憲男



ご用命はこちらまで ▶ **TEL.045-822-3561**

担当



**三宝精機工業株式会社**  
[www.sanpo-seiki.com](http://www.sanpo-seiki.com)

〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町405番地  
**TEL 045-822-3561 FAX 045-824-0151**  
E-Mail : [welcome@sanpo-seiki.com](mailto:welcome@sanpo-seiki.com)